

10 根崎町内会（安城市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	根崎町内会
2 事業名	防犯活動の輪を広げ！地域意識の高揚を！
3 事業実施結果	<p>私たちの根崎町では、平成28年中、刑法犯総数が大幅に増加し、特に侵入盗は安城市町内別でワースト2位を記録するなど多数の犯罪が発生した。このため、まちを挙げて犯罪減少を目指して取り組んだ。</p> <p>1 新規青色防犯パトロール車の整備と体制の強化</p> <p>まちの安全安心を守るため、町内会と老人会のメンバーが中心となり、初めて青色防犯パトロール車3台によるパトロールを開始した。</p> <p>今回の事業で、青パトのパトライト3台分を整備し、うち1台には外部スピーカーを取り付けた。また、パトロール隊のユニフォーム（緑ベスト）を統一した。青パトでは、週3回夕方から夜を中心に巡回している。</p> <p>～青パト出陣式で園児からパトライトを受領～ ～新たに根崎のまちの安全安心を守る青パト～</p>   <p>2 各種行事において啓発活動の実施</p> <p>(1) 防犯対策品展示セットを掲示</p> <p>公民館の玄関に、実際の防犯グッズが展示された防犯対策品展示セットを設置し、侵入盗などに対する住民の防犯意識の高揚を図っている。</p>  

(2) 子供から高齢者まで各行事で防犯啓発を実施

行事がある時には、侵入盗をはじめ世代にあわせた防犯啓発を行い、町内の皆さんの防犯意識が高まるようにした。

子どもたちやパトロール隊には、県事業で購入した泥棒や不審者がいたら音で知らせるホイッスルを配布し啓発と防犯力を高めた。

～夏休みに行われた「根崎っ子よっといでん」子ども防犯教室と指紋採取体験の風景～



～根崎保育園でのちびっこ警察官体験～



～犯罪抑止決起大会での防犯講話など～



～こどもとパトロール隊に配布の啓発品～



～県防犯ボランティア養成アカデミー～



3 横断幕をまち・企業へ設置し防犯意識と連携強化

まち全体の防犯意識の高揚のため、横断幕をまちの主要箇所や企業など9か所に設置し、町民と働く人、町内を通行する人に対して防犯意識の高揚を図った。

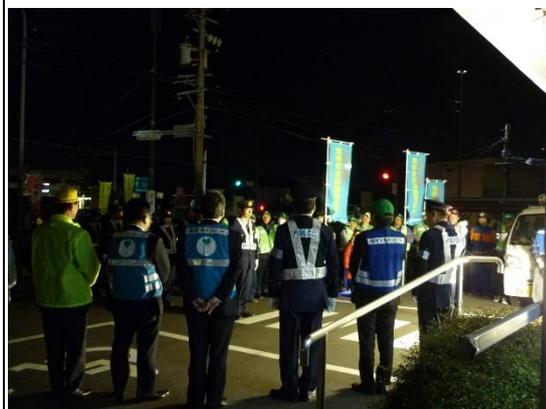


4 年末警戒における市長、署長激励と合同パトロールの実施

12月1日に根崎町公民館で市長と署長から激励を受けた後、3班に分かれ、町内のパトロール活動を行った。

このパトロール活動は、まちの人たちに声を掛け子どもからお年寄りまで幅広い世代が参加して、町内の安全安心のために行った。

～市長、署長の激励巡視～



～警察官と合同パトロールを実施～

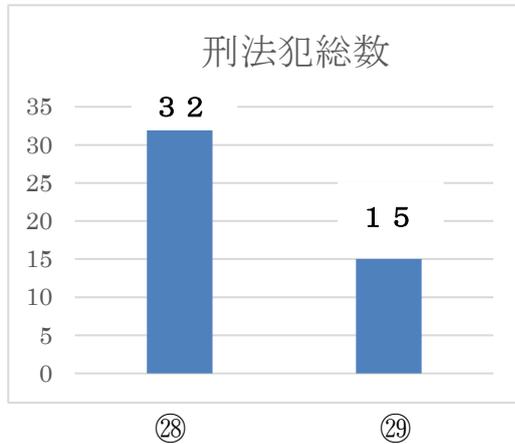


(1) 事業実施の成果及び課題

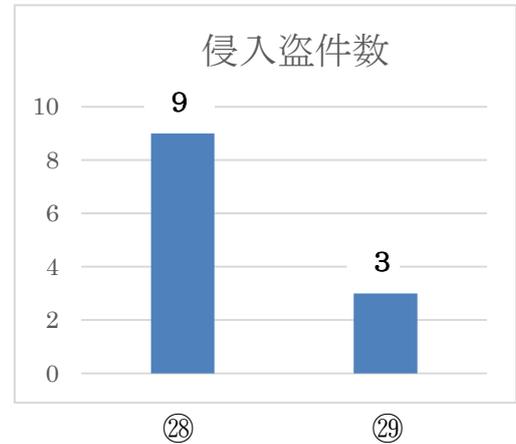
●事業実施の成果

下記グラフのとおり平成28年と29年の犯罪情勢を比較すると、刑法犯総数が大きく減少し、特に侵入盗は3件の発生に止まり、各種取り組みの成果が目に見えて現れたと考えている。

○刑法犯総数は、【半減以下】



○侵入盗は、【大幅減少】



県事業を活用した取り組みにより、あらゆる世代に防犯活動の大切さを呼び掛けることができた。

このことにより、町内の人たちが犬の散歩の際など自発的に防犯活動を行ったり、普段はあまり接点のない企業が横断幕の設置などに協力いただいた等の効果があった。

更に、老人会や町内会を中心に青パト活動をスタートすることができたため、まちの安全安心を支える土台づくりができたと考えている。

●課題

今後もこの防犯に関する機運の高まりを維持していくことや、青パト活動などのパトロール活動を無理なく安全に継続するためのメンバーや体制づくりが課題として考えられる。

また、碧南市や西尾市の市境にある町内会として、双方の市の犯罪情勢などにも目を光らせるため情報を得ていきたいと考えている。

(2) 今後の取り組み

横断幕に掲げたように「私たちの手で安全安心な根崎町へ」を実践していくため、町内会をはじめ、まちの人々が安全安心に関する活動を継続することはもちろんのこと、警察署や市役所など防犯に係る機関と良好な関係を維持し、協力しながら取り組んでいきたい。

4 成果と課題 及び今後の 取組み